

## 自然共生の未来を探究する連続ワークショップ

### 第3回ワークショップの報告

7月28日（木）18:00～20:00 あいばーと佐渡  
参加者：会場27名、オンライン13名

#### オープニング

第1回・第2回の実施内容や各チームから出された意見について振り返りを行うと共に、今後のアクション検討の際に改めて意識したい考え方について、NTTデータの松本さんよりシェアいただきました。

ポイント① 単一課題にアプローチするのではなく、佐渡島が抱える複数の課題や強みにアプローチすることで変革やゲームチェンジを起こそう！

ポイント② 変革やゲームチェンジを起こすために、産業や業界の垣根を超え、多様な循環を考えよう！

#### インスピレーショントーク

##### 1. エネルギー起点の町づくり活動のご紹介

講師 | 村岡元司さん

NTTデータ経営研究所執行役員/パートナー



##### 2. 産地の事例に学ぶ、IT活用の勘所

講師 | 大川英敏さん

NTTデータデジタルビジネス推進部 食農ビジネス企画担当部長



エネルギーや農業の分野でITを活用しながらまちづくりを行っている村岡さん、大川さんから、エネルギー起点のまちづくりや、IT活用の考え方についてお話を伺いました。

村岡さんからは、ドイツのオスナブリュック市の成功事例から、地域エネルギー会社設立におけるメリットや経済・社会・環境が循環する仕組み作りに欠かせないビジネスモデルのポイント、それらを踏まえ現在実施中の熊本県上天草市・湯島での取り組みについて学びました。また大川さんからは、食農分野を切り口にした持続可能な地域社会の実現のために不可欠ともいえるITの活用について、長崎県雲仙市での取り組みなどから、ITはあくまで課題解決のための道具であり、IT活用とは、目的に応じて仕組みに組み込む事であることを学びました。



#### ワーク

異業種の参加者でグループを作り、資源の循環、モノの循環、エネルギーの循環、人の循環というテーマの中から、各グループ1つ選択し、現状やあるべき姿を整理、現時点でそれぞれがやってみたいと思うことをシェア。グループごとに発表を行いました。

グループA 資源の循環（主に森林）

グループB 人の循環

グループC 資源の循環（主に竹）

グループD エネルギーの循環（主に竹や海藻）

グループE モノの循環、人の循環、エネルギーの循環

グループF 資源の循環

グループG エネルギーの循環（主に木）、資源の循環、人の循環



#### スタッフより

NTTデータ 赤木美日

まずは、これまで計3回にわたるワークショップへ積極的に参画いただき誠にありがとうございます。佐渡島の未来について熱く対話される皆さまの姿を拝見し、この島の大きな可能性を感じています。第3回では、産業毎ではなく地域全体で経済を回す考え方を知っていただいた上で、循環をテーマに考えることで、複数の課題へ包括的にアプローチする思考法を体験いただけたのではと思います。残すところ2回。秋以降、具体的に実行に移すプロジェクトの種を共に見つけましょう！

問い合わせ先 新潟大学佐渡自然共生科学センター コミュニティデザイン室（豊田・北）

Tel: 0259-22-3885

Email: community-design@cc.niigata-u.ac.jp